

歴史と文化
を訪ねて NO.9

ずいき神輿を見て来ました



旗・吉田東子さん絵

御園神社へ出かけました

10月の第2日曜日13日上奈良地区の御園神社の秋祭りに出かけました。「歴史と文化を訪ねて」の9回目、出口修さんに案内をしていただき、20名で。ずいき神輿を見ることが大きな目的でしたが、その歴史を

知ることは面白いかなあと思いました。

当日は
コミバス上奈良南の口



ずいき神輿



御園神社



神輿の前で

を降りて御園神社に向かう直前で、ずいき神輿を発見し



ました。子どもたちと青年たちと。その場所が 暦6年(787年)



御園神社例祭巡行



板に、拝殿の奥に木造の建物に保護された本殿があって、



現在のものは一間社流造檜皮葺元禄十四年(1701)の建立と。2007年に京都府指定文化財に。残念なが

いました。その昔... 八幡廻り以前のこと。『・延



神輿を待ちます



神輿の前で

ら本殿は見なくて帰って来ました。右の写真がそうです。平成23年

本殿ネット検索で



桓武天皇が河内国交野に行幸の際この里に立ち寄り猟遊していると神託があり同

年冬十月 大納言藤原継縄に命じて社を建立させ 奈良春日社から三神を移座して建立されたその後 南北朝や応仁の乱によって



炎上したが明応三年(1494)九月新殿を造営したと伝えられている...』と上奈良地区の御園神社の看

に彩色の復元がされたそうで、鮮やかな朱色が目に入って来ます。

ずいき神輿 どうして御園神社の秋祭りにこの



神輿が奉納されることになったのか。古代の上奈良

下奈良は久世郡奈羅郷に属し、朝廷



八幡まるごと館だより

2020年1月21日/122号

<発行> 八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい

八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

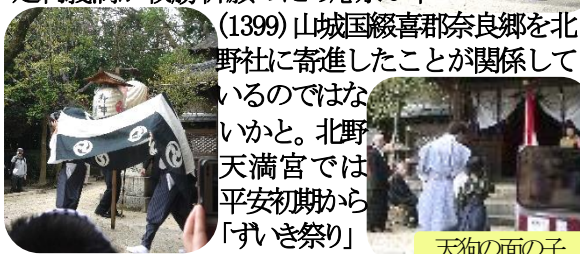


御園神社拝殿

中引き廻すそうです。私たちはその後をついて行かず御園神社へ。神社には彼岸花がそっと咲いて



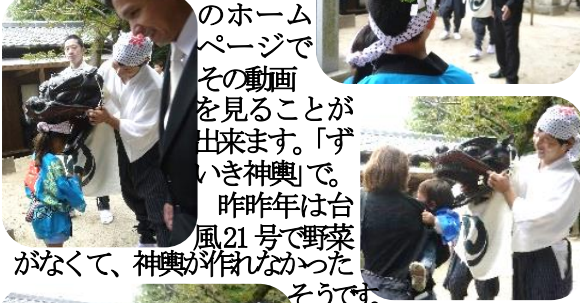
行列の方々が
足利義満が戦勝祈願のため応永6年(1399)山城国綴喜郡奈良郷を北野社に寄進したことが関係しているのではないかと。北野天満宮では平安初期から「ずいき祭り」



が。それを義満も見学したとの記録がある。江戸時代初期に現在の神輿の形に整えられたとされていると、出口さんの資料に。神輿は穫れた30種類の野菜を飾りたて、神社に奉納、五穀豊穡を祈願、感謝する。神輿は祭りの3日前から公会堂に集まり20人余りで作られるそうで、市のホームページでその動画を見ることが出来ます。「ずいき神輿」で。昨昨年は台風21号で野菜がなくて、神輿が作れなかったそうです。



獅子



御園神社例祭
当番の輪番による当(祭りの差配者)を中心に行列順路に提灯が立てられる。当日朝神事執行の宮司(八幡宮)が当家で、

に献上する野菜を栽培する地であったことや更に室町時代では將軍

ったことや更に室町時代では將軍

天狗の面の子



天狗の面の子



着替えをし、宮総代が神事奉仕者の役割とともに、名前を読み上げ、当家の前で行列を整える。行列は高張提灯-大太鼓-天狗-獅子-幣-神職-区長-宮総代の順に出発。公会堂前で神輿と合流して御園神社に向



かう。神事
①三笑-本殿の方で背を向ガ-ベン笑いで大声で



笑う。「二へん笑え」「三ベン笑え」同じく大声で笑う。
②本殿内の神事③ずいき神輿前でお祝
④民族芸能(京都府無



形民俗文化財)-天狗(面)の奉納。これは天狗の面をつけ

ずいき神輿の野菜



里芋頭

へちまで鳳凰を

パプリカやカラスウリも

この上にミョウガも

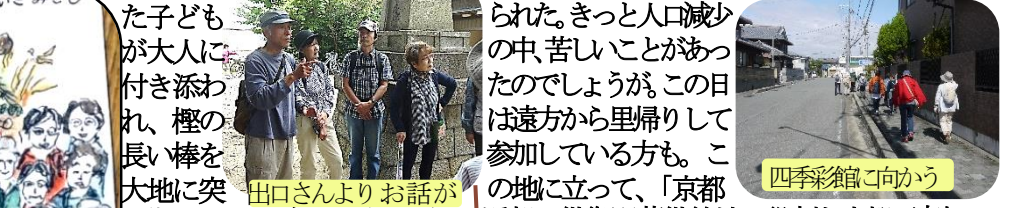
小豆で猪を

栗

万願寺唐辛子・かりん・柿・ナス等

130本のずいき

かんぴょうで豆を



た子どもが大人に付き添われ、榎の長い棒を大地に突く動きを。王の舞というのだそ



うだ。次は獅子舞で若者2人が



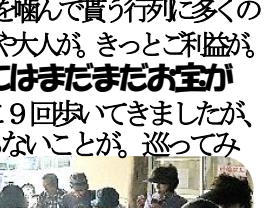
御園神社を後に



ここで解散。流れ橋へ行かれた方も



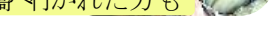
四季彩館に向かう



四季彩館で昼食



四季彩館で昼食



四季彩館で昼食



吉田東子さん絵

られた。きっと人口減少の中、苦しいことがあったのだと思いますが、この日は遠方から里帰りして参加している方も。この地に立って、「京都近郊の供御野菜供給地の役割と京都西南部の守護を担っていた」那羅田に思いを巡らすのもいいものです。獅子に頭を噛んで貰う行列に多くの子どもや大人が、きっとご利益も八幡にはまだまだお宝が既に9回歩いてきましたが、八幡歩いてまだまだ知らないことが。巡ってみたい、知りたい所へ、次も。出口さん、八幡たんけん等の資料を参考に書きました。皆様ありがとうございます。間違い等ご指摘いただけましたら嬉しいです。